



食Pro.制度事務局が開催する、唯一の食Pro.プロ級養成の場

商品開発・販路開拓から一步進めた、食農ビジネスの将来像、イノベーション、エコシステム、循環型社会形成、関係人口、事業予算確保（マネタイズ）、事業計画や戦略策定のノウハウを学び、食Pro.プロ級や上位級の合格を目指しませんか。

【対象】

- 食Pro.制度の「プロ級」合格を目指す方
- 上位の段位を目指す 食Pro. レベル段位認定者
- 事業者さま・法人さま（新規ビジネス部門スタッフの社内研修の一環として利用）
- 食農ビジネス分野で更なるノウハウやスキルを身に着けたい方 など

【期 間】 2025年 9月～2026年 4月（全7回）

リモート(Zoom) 5回、対面ワーク 2回 ※詳しくはスケジュールをご確認ください。

【受講料】 ● 食Pro.レベル段位認定者 : 33,000 円（税込み）
● 一般（認定者以外） : 99,000 円（税込み）

※第1回のみ 22,000円（税込み）にてお試しの参加が可能です。その後、定員に

空きがあり、第2回以降の養成講座に参加をご希望の場合は、追加で正規受講料をお支払いいただきます。

【定 員】 先着 20 名限定（最低開催人数 8 名）

プロとして、
次の戦略を
実現する！

申し込み方法

- 下記のサイト内に申し込みフォームを設置しますので、フォームに沿って申し込みください。
定員になり次第、受付を終了いたします。

- 申込期間：2025年7月15日（火）～8月27日（水）

URL : <https://ws.formzu.net/dist/S903611993/>

申込フォームはQRコードからもアクセス可能です。



- 2011年、将来の地域食農ビジネスを担う人材の育成 と 食農ビジネス分野の実践者や支援者、さらには分野をリードする人材を対象に、知識・実践的スキルを客観的に評価する検定制度として「食Pro.制度」は、実践キャリアアップ戦略・国家戦略プロフェッショナル検定として誕生しました。
- 制度開始から14年を経て、2025年7月現在、全国 131機関が研修プログラムの認証を受けるとともに、高校生からプロフェッショナルに至る 10,000人を超える段位認定者が輩出されています。
- 食Pro.制度を進めて来た14年の間には、農商工等連携や6次産業化、地方創生などの進展により地域食農ビジネスの浸透と一般化が大いに進みました。一方で食農分野を取り巻く社会背景は、人口減少や少子高齢化といった人口動態の変化を基盤に、グローバル化に伴う食料安全保障、エネルギー・原材料・商品価格の高騰、世界経済における日本のプレゼンス低下、雇用創出、人材確保、「持続可能な開発目標（SDGs）」に代表される環境負荷の低減など、次代に向けたさらなる課題への対応が求められています。
- 特に農山漁村の現場では、人口減少下における生産水準の向上や地域コミュニティの維持など、喫緊の課題を解決できる人材の育成・確保が急務となっています。
- 食Pro.制度では、これまでの地域における農林水産業や食品産業および食農ビジネスを基盤に、次なる展開を見据えた知識の習得、習得した知識の自身が行う業務への落とし込みによる実践的スキルの構築を目的に、「国家戦略プロフェッショナル検定 食の6次産業化プロデューサー（食Pro.）制度 食農の次世代を見据えたプロ養成講座」を開講いたします。

留意事項

〈食Pro.段位認定との関係性〉

- 養成講座の受講は、食Pro.制度におけるプロ級（レベル4、レベル5）の段位認定を保証するものではありません。

養成講座をつうじてプロ級審査に向けた考え方やノウハウ・スキルの向上を図ってください。

〈講座受講に係る事務的事項〉

- ZOOM接続環境が必要です。

各自、受講されるPC等の環境設定（画面・音声オン対応）をご準備ください（通信に係る費用は、各自ご負担ください）。

- 受講料は全7回の金額となり、入金確認後、参加証を発行いたします。

講座はスケジュールに従い実施しますので基本的には全7回のご出席をお願いいたします。

なお、講座では特に修了要件は設けていませんので、受講したい回のみのお出席を可とします。また、受講者専用に講義の見逃し配信等のアーカイブもご用意いたします（Zoom開催分のみ）。

- 本講座の修了要件は定めません。

事前準備の実施と講座終了後の宿題を案内しますが、講師等が評価をするものではなく、修了要件ではありません。各々自己研鑽のつもりで取り組んでください。修了証の発行もありません。

R7年度の開催のポイント

① 食農ビジネスを『未来視点』で捉える機会！

- 第1回（キックオフ）は、我が国の農林水産、食品産業等を基盤に食農ビジネスの未来について、研究、実践する専門家を招きグローバルな視点で解説します。

② 『失敗』から教訓やノウハウを学ぶ！

- 本年度は、次代を担う食農ビジネス人材への知識継承を目的に、食農ビジネス分野で多くの成功事例を持つ「食Pro.制度 レベル認定委員」を参集、食農ビジネスの主体者、支援者、育成者など、これまで当該領域を先導してきたそれぞれの事例に加え、一般では話さない失敗事例を取り上げ、そこから得た教訓やノウハウをお伝えします。

③ 『意見交換』により理解度を向上！

- 食Pro.事務局をファシリテーターに、各回の講師と参加者との意見交換を60分程度設けることで、テーマに対する理解度の向上と、参加者と講師、参加者どうしが繋がっていくための機会を創出しています。

④ 食Pro.申請の『ポイント解説』

- 食Pro.審査に係る申請書（全28項目）を各回のテーマに合わせポイント解説します。

開催スケジュール1

日 時	講義・研修の内容
第1回 9月6日（土） 13:30～16:30 〈Zoom開催〉	食農ビジネスの未来像、食農を超えた食料システム ●講義① 13:45～14:30（45分） 稲垣 公雄 氏 株式会社三菱総合研究所 研究理事（フェロー）・食農分野連携推進本部長 （食農共創プロデューサーズ 理事）  ●講義② 14:45～15:30（45分） 長谷川 潤一 一般社団法人食農共創プロデューサーズ 代表理事 一般社団法人食品需給研究センター 上席研究員  ●パネルディスカッション・参加者との意見交換 15:30～16:30（60分） 講師2名による参加者との意見交換および提案された課題検討 *なお、第1回の講座は、養成講座に参加するための背景理解を促す目的に、食Pro.制度で実施される「プロ級段位認定者の更新研修」の一部を聴講いただきます。

開催スケジュール2（リモート研修）

日 時		講義・研修の内容
統一テーマ：～次世代の君たちに伝えておきたい。 食Pro.推進者が失敗から学んだ教訓やノウハウ～ 「次代を担う食農ビジネス人材への知識継承」を目的に、食農ビジネスの主体者、支援者、育成者として活躍してきたレベル認定員より、各員がそれぞれの事例を持ち寄り、「失敗」を、戦略構築、企画検討、商品開発、販路開拓、連携コーディネートなど場面として具体化するとともに、取組や展開のどのタイミングであるかを時系列的に整理し「他では聞けないここだけの話」として講義します。		
第2回 10月11日（土） 10:00～12:00 〈Zoom開催〉		松田 高政 氏 高知大学土佐FBC 特任准教授 株式会社こうち暮らしの楽校 代表取締役 （食Pro.レベル認定委員、食Pro.レベル6 段位認定者）
第3回 11月15日（土） 10:00～12:00 〈Zoom開催〉		鈴木 裕己 氏 株式会社プロ・スパー 代表取締役 （食Pro.レベル認定委員、食Pro.レベル5 段位認定者）
第4回 12月13日（土） 10:00～12:00 〈Zoom開催〉	 	石谷 誠 氏 株式会社はまげん 代表取締役 （食Pro.レベル認定委員、食Pro.レベル5 段位認定者） 松田 恭子 氏 株式会社結アソシエイト 代表取締役 （食Pro.レベル認定委員、食Pro.レベル4 段位認定者）
第5回 1月10日（土） 10:00～12:00 〈Zoom開催〉	 	福田 浩一 氏 一般社団法人価値創造サポート協議会 理事 （食Pro.レベル認定委員、食Pro.レベル5 段位認定者） 田中美智子 氏 株式会社トータルオフィス・タナカ 代表取締役 （食Pro.レベル認定委員、食Pro.レベル4 段位認定者）

開催スケジュール3（リアル・グループワーク、成果報告会）

日 時	講義・研修の内容
第6回 2月14日（土） 10:30～16:30 〈リアル開催〉 【開催場所】 東京都内会議場	食農ビジネスの戦略・事業計画 ●習得した知識を自身の取組に活かすためのワークショップ（300分） メイン講師：長谷川潤一 食農共創プロデューサーズ 代表理事 食Pro.事務局にストックされた多様なワークショップメソッドから、本研修オリジナルの戦略や計画策定、更にはマネタイズやキャッシュポイントの整理などを、グループワーク形式でお教えいたします。
第7回 4月11日（土） 10:30～17:00 〈リアル開催〉 【開催場所】 東京都内会議場	食Pro.プロ級養成講座 成果報告会 ～習得した知識とスキルのプレゼンテーション～ ●受講者プレゼンテーションとブレインストーミング（10:30～15:30） 〈アドバイザー〉 レベル認定委員、認定審査員、 食Pro.プロ級段位認定者、本講座の講師等 ●食Pro.レベル4、レベル5 申請書への反映 食Pro.事務局 ●その他、情報交流や記念講義等を予定。 ----- ●食Pro.関係者との交流会開催（17:30～）

講師等のご紹介



第1回講師

稲垣 公雄 氏

株式会社三菱総合研究所
研究理事（フェロー）・
食農分野連携推進本部長

関西センター長、ものづくり事業革新センター長、経営イノベーション本部副本部長を経て、2021年より食農分野担当本部長。金融機関や製造業、サービス業でのコンサルティング経験を農業分野の社会課題解決につなげるべく、事業改革や組織のマネジメント改革、事業創出に従事。近年、NHKエゾ等での農業課題の解説なども行う。



第1回、第6回講師

長谷川 潤一 氏

（一社）食農共創プロデューサーズ
代表理事

6次産業化や農山漁村発イノベーション、農商工等連携、地方創生などにに関わり、食農ビジネスの創出を基盤に地域活性化における商品、サービス、販路、ブランド、技術開発、普及活動など、行政、民間を問わず幅広い戦略指南等を進めるとともに、食Pro.制度を構築。地域の食農ビジネス等に係る人材育成、人材発掘、人材連携などを推進する。



第2回講師

松田 高政 氏

株式会社こうち暮らしの楽校 代表取締役 / 高知大学土佐FBC 特任准教授

高知県を中心に四国内の農山漁村調査、観光・特産品開発などの地域活性化事業を手がける。2007年、地域産品の商品開発・販路開拓のコンサルティングを行う株式会社こうち暮らしの楽校を設立。高知大学土佐FBCの特任准教授としてプログラム開発や受講生との連携など、リアルでの人材育成を進めている。



第3回講師

鈴木 裕己 氏

株式会社プロ・スパー
代表取締役

産地周辺の限られた地域でしか流通しないことで日の目を見ない資源「マイナー魚」や漁獲調整や売れないからという理由で海洋投棄されてしまう「未利用魚」を広域流通させることで、その魚本来の価値に見合った価格形成を生産者と手を取り合って確立するビジネスを創出。現在、事業者経営支援、家業塾開塾など多方面で活躍。



第4回講師

石谷 誠 氏

株式会社 はまげん
代表取締役

元自治体研究職員。漁協が運営する直売所や漁師食堂の企画、運営支援、経営改善指導。産地市場の経営改善に向けた販売事業展開の計画策定と取組支援。地域の手料理を利用した商品開発とそれを利用した産地PRのコーディネートなど水産を中心に多様な支援を展開。漁協や漁業者向け6次産業化等の講習会なども実施。



第4回講師

松田 恭子 氏

株式会社結アソシエイト
代表取締役

自治体や農水産業者、食品事業者を対象とした経営改善、6次産業化、連携構築、販売戦略・ブランド化を多数支援。上級農業経営アドバイザー、6次産業化エグゼクティブプランナー、地理的表示保護制度サポートデスクアドバイザー、地域食農連携（LFP）コーディネーターなど、地域、食、農の展開に精通するスペシャリスト。

講師等のご紹介



第5回講師
福田 浩一 氏

(一社) 価値創造サポート協議会
理事

大手食品流通業に従事。メーカー・工場とのネットワークを有していることから、生産者に最適なマッチングを実施。サプライチェーンを川下から川上へ遡った商品やサービスの開発など、規模に関わらず、市町村等の小エリアでの販売提案も含め、生産者へ歩み寄ったさまざまな取組や活動へのサポートを行っている。



第5回講師
田中 美智子 氏

株式会社トータルオフィス・タナカ
代表取締役

農林漁業者の強み、魅力、優位性を導きだし、価値を付加した商品・サービスの企画～開発・サービス提供～販路開拓など総合的な支援を実施してきたスペシャリスト。事業プラン、事業計画書の作成、商品、サービスの企画、設計、開発、販路拡大のほか、R7年から食農ビジネスの人材育成を目的とした一般社団を地元福岡で設立。



第7回発表会
櫻井 清一 氏

千葉大学大学院
園芸学研究院 教授

農業経済学者。研究分野は、環境・農、農業社会構造を中心に、農村経済の多角化、農産物流通論、農村社会論など各方面での学術的、実学的な実績を有する。食の6次産業化プロデューサー（食Pro.）制度の検討から関わり、同制度レベル認定委員会座長を設立時から担っている。



第7回発表会
針生 信夫 氏

株式会社舞台ファーム
代表取締役社長

「未来の美味しいを創る」を理念に、高品質なコメや野菜の生産事業、物流や農機具シェアリングなどの農業サービス事業、アグリテクノロジー事業などを展開。仙台で15代続いてきた家業の農家を大きく飛躍させ、時代の先端を行く農業プラットフォームを構築。



事務局、ファシリテーター
藤井 貴之 氏

(一社)食農共創プロデューサーズ
事務局長

食Pro.事務局長のほか、農業者の経営支援、事業承継に関するアドバイス、就農サポートなどに加え、地域活性化プロジェクトの戦略立案、地域の食材を利用した食品の開発、販路開拓、場づくりなどを進めるバックフォローのスペシャリスト。組織経営や総務・経理業務の補助も含めバックオフィス全体の支援も手掛ける。

受講者の感想

講習を通じてプロ級に求められる要素の中で、自分が不足している視点、実績、思考が明確になり、今後の事業活動の中で強化する事の整理に繋がりました。
食や農林水産業を通じ、少子高齢化の課題を抱える日本において何をしなければならぬかをより深く考える機会になりました。

(福島県 製造業 M.S)

この講座を受講して、最前線で活躍されている様々な講師の方のお話を聞くことができました。その中で学んだことは、狭義の6次産業化に捉われないことなく、視野を広く持たなければならないということでした。商品を作って、売って、儲けるだけではなく、地域をどうしていくかという視点が求められます。

現在私の持っている段位はプロレベルではありませんが、今後プロレベルの段位取得に向けて、努力していきたいと思います。

(千葉県 T.Y)

普段の業務では、「食農」に関する部分的な関与になりがちなところ、改めて多角的な観点から学び直すヒントを多く得る事が出来ました。実務としてこの分野の最前線で活躍する方のお話を聞かすることができ、視野の広がる示唆に富んだ講座やワークショップでした。これから食Pro.にチャレンジする人だけでなく、食Pro.として活躍している方々にも有益な機会だと思います。

懇親会でビジネス面での交流が出来たことも良かったです。

(東京都 コンサルタント Y.M)

「食Pro.」は実践的資格であり、養成講座を通じてその理念の深さを実感しました。今後の農林水産業は、消費地への生鮮品供給から、地域内に十分な付加価値をもたらす持続することが求められ、「食Pro.」人材の役割は一層重要になると感じました。

(愛知県 コンサルタント M.A)

各回講師陣との
意見交換や
参加者同士の
交流にも力を
入れています。

講師が豪華でした。成功談でなく失敗談を聞いたことが、参考になりましたし励みにもなりました。ここでしか聞けない情報だと思いました。リアルに同じ受講者とワークができたことも財産となりました。

生産者という立場での参加でしたが、熱心に数字や課題点、解決方法などのアドバイスは、今も活かされています。

(山梨県 農林漁業者 M.K)



参加した認定審査員の感想



複数のトッププロたちから、それぞれの分野での最新事例や成功のポイントを直接聞ける大変貴重な機会だと思います。

アドバイスを聞いた上で、参加者自身の取組について振り返りを行うため、それぞれの地域に良い変化が起こるキッカケになると感じました。

(福岡県 コンサルタント M.I)

パナ農援隊東京本社にて、プロ養成講座受講生の皆様が、現在携わっている事業又はこれから携わろうとしている事業を発表されました。

『ヒトを感動させて動いてもらうには、「なぜそうしたのか？」という納得感のあるマーケティング分析と同時に、その事業への熱い思いがなければならない』

8か月間のプロ養成講座で学ばれたスキルを活用されての、ロジカルかつ熱量のこもった皆様のプレゼンを拝聴して、そう感じた貴重な1日でした。

(千葉県 食品安全コンサルタント H.N)

受講者の皆様がビジネスプラン構築に真摯に取り組んだことがプレゼンテーションからうかがえました。

この講座の様に、自らの理念実現に向けた取り組みを、専門家がフォローすることで、真のプロ感覚を備えていく機会になると思います。

より地域に密着した受講者の姿勢が備わると良いなと思いました。

(岡山県 コンサルタント N.F)